資料２

令和７年度

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）事業の効果検証

令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）事業の効果検証について

制度概要

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）は、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の後継となる交付金で、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組などを支援することを目的として、令和７年度に国において創設され、事業費（交付対象経費）の１/２が国から交付されます。

本市では、令和７年度において、３事業の事業費（交付対象経費）の１/２である約３，１４７万円が交付されました。

各事業の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

◆交付金事業の事業費及び交付金充当額

交付対象事業名	交付対象事業費	交付金充当額
まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト	１３,０１１,１６１円	６,５０５,５８０円
Made in いせさき　しごと創生プロジェクト	１９,７２３,７４０円	９,８６１,８７０円
eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した交流人口拡大事業	３０,２０７,０２６円	１５,１０３,５１３円
合計	**６２,９４１,９２７円**	**３１,４７０,９６３円**

まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト

担当課

商工労働課・文化観光課・住宅課・広報プロモーション課

事業期間

令和４年度　～　令和８年度

事業概要

まちなか（伊勢崎駅及び境町駅周辺地区）における創業、小規模事業者の事業拡大、空き家の利活用促進、賑わいの創出を支援することや、まちなかのイベント開催、移住定住を促進することによって、まちなかの経済活力や賑わいの向上を推進し、新たな雇用の創出や地域経済全体の活性化を目指すもの。



事業費

１３,０１１,１６１円（うち交付金充当額：　６,５０５,５８０円）

成果指標

まちなかで新たに創業した事業者の数

R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
2社	3社	1社	2社	18社	19社

まちなかワークショップ参加者数

R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
27人	176人	830人	331人	240人	300人

伊勢崎駅周辺で開催されるイベントの来場者数

R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
39,400人	46,903人	50,610人	54,347人	52,000人	56,000人

得られた事業成果及び今後の方向性

まちなかのにぎわい創出に向けて、伊勢崎駅前イベントを含むまちなかへの集客イベントを開催するとともに、創業支援事業に取り組んでいるが、まちなかへの創業につながりにくい状況である。課題となる創業への資金面などに対し、多様な創業支援が可能な地域の金融機関の拡充に向け、積極的に関与していく。また、イベント開催等のまちなかのにぎわい創出に一定の効果があった事業については継続的に実施し、地域との連携や創業者数の増加に繋げたい。

また、空き家対策に関するセミナーの開催や、フリーペーパーでの補助金の周知広告により、空き家情報バンクの事業周知や空き家所有者の意識向上につながった。今後も継続的な事業の周知と啓発活動を行い、空き家の利活用を推進することで、まちなかの活性化を目指す。

Made in いせさき　しごと創生プロジェクト

担当課

企業誘致課・商工労働課・文化観光課・広報プロモーション課

事業期間

令和４年度　～　令和８年度

事業概要

市内企業の販路拡大、マッチング支援及び地元学生に対する認知度向上のため、ビジネスマッチングや地域活性化イベントを開催する。また、市内企業への就職を後押しするため、高校生向け就職面接会の開催や市内産業PRを実施するもの。
併せて、近隣市町村の事業者を招いた展示会を開催するだけでなく、県内自治体、金融機関、商工団体と展示会の共同開催や、県外の展示会に市内企業との共同出展するなど、販路拡大と併せて先進事例等の情報収集を図るもの。



事業費

１９,７２３,７４０円（うち交付金充当額：９,８６１,８７０円）

成果指標

製造品出荷額等

R４実績	R５実績	R６実績	R７実績	R７目標値	R８目標値
10,060億円	11,017億円	12,073億円	12,715億円	13,125億円	13,350億円

市内・県内展示会での新規契約数

R４実績	R５実績	R６実績	R７実績	R７目標値	R８目標値
10件	6件	10件	1件	32件	34件

県外展示会での新規契約数

R４実績	R５実績	R６実績	R７実績	R７目標値	R８目標値
2件	2件	4件	41件	18件	20件

移住相談会等の参加者数

R４実績	R５実績	R６実績	R７実績	R７目標値	R８目標値
253人	277人	327人	396人	276件	326件

得られた事業成果及び今後の方向性

展示会と併せてイベントを開催することで多くの方が展示会場を訪れる機会の創出を図ることができ、市内企業の認知度向上に寄与した。また、出展企業からは、展示会に継続的に出展することで会社名や製品をPRすることができ、後の商談に結び付く可能性も高く、県外展示会への出展は有効であるとのコメントをいただいているため、今後も市内企業のニーズに応じた各種展示会に継続的に出展していく。
上記事業等により移住相談会等の参加者数も増加傾向にあるため、引き続き市内企業PRや製造業の販路拡大に取り組む。

eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した交流人口拡大事業

担当課

商工労働課・文化財保護課・広報プロモーション課・環境政策課・公園緑地課

事業期間

令和６年度　～　令和８年度

事業概要

　eスポーツを軸としたデジタルコンテンツの活用による観光振興に取り組むことで、既存の観光資源をブラッシュアップし、新たな客層を獲得するための訴求力を高めるとともに、新たな観光資源となるコンテンツを生み出し、交流人口の拡大を図る。



事業費

３０,２０７,０２６円（うち交付金充当額：１５,１０３,５１３円）

成果指標

地域の観光消費額

R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
3,403,471,000円	2,956,493,000円	3,395,818,000円	3,431,287,000円

eスポーツ大規模大会の年間来場・視聴者数

R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
3,500人	2,000人	900人	1,100人

eスポーツイベントの年間開催回数

R6実績	R7実績	R7目標値	R8目標値
7回	11回	10回	11回

得られた事業成果及び今後の方向性

　北関東最大規模の大型映像装置を使った伊勢崎オートレース場でのｅスポーツ大会の実施するなど、年間11回のイベント開催ができ、ｅスポーツに触れ合う機会を創設できた。
　また、本市に縁のある漫画コンテンツにデジタル要素を取り入れた周遊型イベントの開催や、既存観光資源の華蔵寺公園水生植物園にインスタ映えスポットとして光る文字看板「KEZOJI」の設置、スマートフォンアプリの生物調査を実施することで、eスポーツ大会等が開催されていない期間においても、本市来訪のきっかけを作ることができた。
　次年度以降も魅力ある体験会や大会、デジタル要素を取り入れたイベントを実施することにより、交流人口の拡大を図ると共に、ｅスポーツの体験を通じて産業技術に興味を持ってもらい、地元中小企業で活躍しうるデジタルクリエイティブ人材の育成につなげたい。